燭台切光忠×へし切長谷部
本丸設定+吸血鬼
R18
BLOOD NIGHT
PARADE
AFTER STORY
ブラッドナイトパレード
アフターストーリー
NARIS
WORKS

BLOOD NIGHT PARADE 下

吸血鬼になってしまったという
誰にも言えない罪を抱えた刀剣男士のお話です。

本丸設定＋吸血鬼。
できれば上巻を先にお読みください。
ラブシーン全て和姦。
血、噛みつくなどの表現あり。

ご注意下さい。

NARIS
WORKS

せっかく
貰った希少な
血液袋って
やつは
ほんの3日で
なくなった
だから

僕は飢餓を
長谷部くんの
血で癒している
あぁ
どうしよう

僕が畑当番に
なってから
もう3つめだ
今度ばかりは
叱られるだろうな
同じ吸血鬼の
血は苦くて、
美味しいとは
言えないけれど
催淫効果は
バッチリで
…長谷部くんに

定期的に血液を摂取しないと死に至る

外傷の治癒が異常に早いかわりに

日向は苦手腕力の制御が難しい

体温も低くなった

でも血を吸うと平気だ

畑当番もできる

しかし随分と燃費の悪い体になってしまった

普段の僕は至ってそれまでと変わらないけど……

ひと・た・び喉が乾けば……

ドキン

ドキン

ごく

たら〜〜〜

ダメだ

ガタ

欲しい

昨日血を貰ったのにもうだ

どんどん乾きのサイクルが早くなっている気がする……

コツン

ー〜〜〜

じじん

じじん

ぐしゃ

ぱく

やっぱり何の足しにもならないか

血じゃなくちゃ…

血じゃないと…

渇いたままではそれこそ誰かを襲ってしまいそうで

僕は怯えていた

だから

有り余るほどの血が欲しい

燭台切

はっ

ちょっと出てこられるか

……いいよ。何の用かな

こちらに用事があるのはお前だろ

えー？なんだろう

俺の部屋に行くぞ

にこ

——わかった

こそう

着くまでそのやせ我慢の顔を崩さないようにしろよ

早く連れ出して…

自分で脱ごう

ふー

ふー

もた

もた

ふー

ムッ

ぱさ

ふぅ…

にしても

よくわかったね
僕がもう飲み
たくなってるって

わかるさ

御託はいい
誰か訪ねてきたら
どうする

血が欲しいん
だろう？

はやく
しろ

誘ってる？

ズイ

はぁ…

さす

さす

そうだよ

誘ってる

にゃ

ふふふっ

そっかぁ…

嬉しいなぁ…

はむ。

ぺろっ

あ…

ごくん

ぶるぶる

ん…

あぁなんて
美味しいんだろう

僕が人の体を
得てから食べた
なにより美味しい

ぶるぶる

ぶるぶる

ぶるぶる

ただの刀
だったころでは
味わえない
快感が僕に囁いてる

吸血鬼って
素晴らしい
だろう？と
嘲笑っている

じゅるる♡

じゅう♡

ーん…！

あ

もっと
もっと
カっ♡
ぢゅ♡
ぢゅる
ぷしん
はぁ
はぁ
う…
ん
ん

はむむ
ふ…
まだもう
こそ
こそ
こそ

少しだけ…
ゴクリ
あと少し…
ちゅー…
ぢゅる

ゴ
ゴ
ゴル
あ……
ふっ
ふっ
ふっ
ハァ…
凄い汗だ
長谷部くんは何も言わないけれど
つ…
やっぱり無理してる
ガリ
どうした？
ぐぐっ
ズイ
！
ぐぐ…
く…
この

…ッ
だから俺は
血なんて
飲まないと

聞いて

君は
血を飲んで
我を
忘れるのを
恐れているん
だよね

ん…

だけど
今なら
ここにいるのは
僕だけだ

君が他の誰かを
襲いたくなっても
絶対に止めてみせる

は

は

信じて

お前に俺を
どうにか出来るとは
思えない

は

弱ってる
今の君よりは
断然強いよ

…く

振りほどけ
無いでしょ？

ふぐっ

ほら

つっ…

ドキッ

僕の血だったら
いくらでも
飲めばいいから

ぐい
はー
はー
どく
じゃあ、
少し……
だけなら
よし
はい、吸って
あーん
ん
むきゅう
くぷっ…
ちゅう
ちゅう
んん…

…っ
チカ
ぷるぷる♥
チカ
チカ
だ
にぷぷ♥
ん…
ダメだ
ふ…ッ♥
ぷるぷる

くそ、
ゴゴ
せっかく抑えられていたのに
ゴゴ
久々にナマの血なんか、
ゴゴ

飲んだら……！
ん
ごくっ
ん
っ
ごくごく
ん
はせ…
はー
燭台切
今日は本丸に戻れないと思え
ぐ…
はーっ

俺と遊ぶんだ

にやり

搾り取ってやる…♥

あぁ、いいよ

後悔しても知らないからな

求められただけでもっと喉が乾いた。

後悔なんかしないよ

ま…
ドクンッ!
ドクッドクッ
ズプッ
ズプププ…ドクッ
ドクン
あ…
ん…
ずっ
はっ
まって…
イッ…
て…
ずっ
あぁまた…ッ
つく…!
ずん♡
はっ
ぴたん
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ

容赦なく気持ちよくされて

たっぷり…

ぱんっ♡

ナカで出しやがって

めちゃくちゃだ

まぁいい——俺も…

い…

く…

いく…

い…

ニュッ

ニュッ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぱんっ

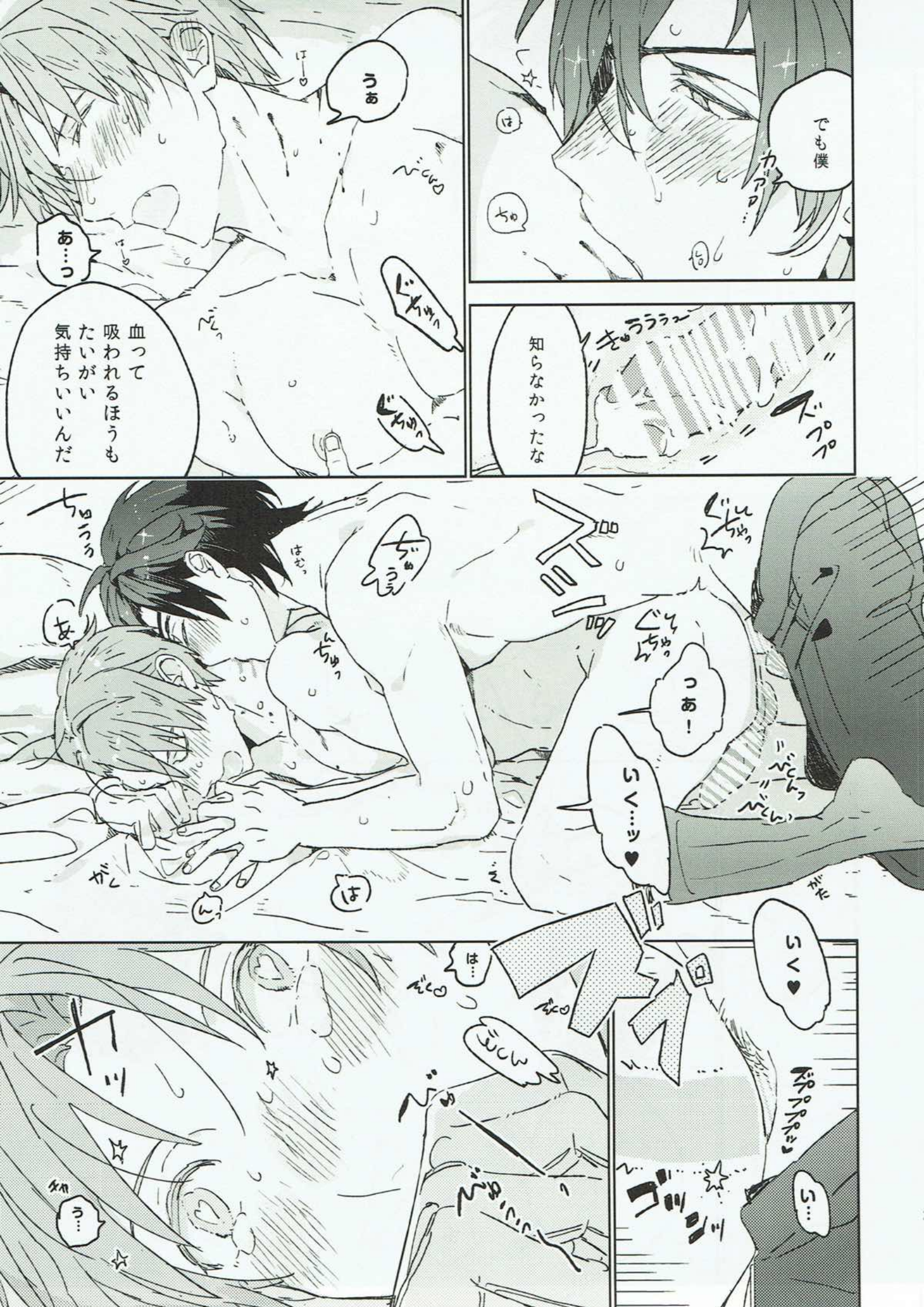
ぱん

ぱん

ぱん

んん…ッ♥
ぱちっ
ちゅっ
ぱちっ
ん!…♥
ぱん
ズ
ズプ
ズ
プハ
ぐッ
ぐプ♥
ぐぷぐぷぐぷ
はぁ
キャ☆
キャ☆
あ…
むり…♥
ぎゅ
い…
い…
く…う…
はっ
はっ
はっ
はっ
あ
ぎゅう!
ぶるぶる

ビクビクッ
ビロロ
ん
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
んんう…
ぎゅう…
ム
ヨロ…
〜ん…♥
ぎし
ぐ
ぐぐっ
あっ
いままでは一度出したら疲れちゃってたのに
今日はまだしたいんだ…♡
いつも僕ばかり
は——♡
にち
旨
旨
は…
ぐちゅるぐっ
ズボ
ひぁ…♥
ふっ
ん
ふー…
ぷぅっ
ぷぷぷっ
ズププ
じゅぅっ
足りなくてしようがなかったんだよ
あ


でも僕
カアアア…
は
ちゅ
知らなかったな
ぎゅうううう
ズププ
うぁ
は
あ…っ
血って吸われるほうもたいがい気持ちいいんだ
じゅっ
じゅっ
ちゅうう
はむっ
ちゅうう
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
っあ！
いく…ッ♥
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ん…っ♥
は…
んう…
んんん…
ああ…ッ
気持ちよすぎて
どうにかなる…

お前なら

俺みたく鬼のたわごとに耳を貸したりしないのだろうな

まさか

軍の中でたまたま君だっただけさ

僕が先かもわからない

ははっ

お前のどこに鬼が付け入る隙があるのか

事実、君に付け入られた

だろ？

……すまん……

いいよ

一人きりは
さぞ悲しかろうと
思ってね

これで君も
寂しくない
だろう

……お前……

ぎゅう…

おかしいぞ

そうかな

僕は僕の決断を
後悔したことは
ないけどな

ちょっとは
しろよ

じゃないと

苦しくて
たまらなく
なる

よしよし

ぽす

大丈夫だよ
僕は君が
いい子だって
知ってるからね

！

……

がたんっ

……はあ

さて

やってみて
わかったが
血の交換は
かなり使えるな

今なら近侍と
出陣しても
誉を取れそうだ

ほら

僕の言った
とおりだった
ろう？

しかし

やはり自分が
信じられん

シュッ

前科があるだろ

だから

俺が心の中まで鬼に支配されたなら

お前がどうにかしてくれ

約束しろ

どうにかって……

そういうことでいいのかな

ああ

心臓を確実に抉らねば吸血鬼は倒れない

ビッ

それから首を跳ねる

これで死ぬ

任せられるか

ああわかった

今まで仲間を殺めたことはないけれど

僕にはできるよ

反対の時は君が僕を斬る。これでいいね

じゃあ指切りしようか

……

ん……

長谷部くんはちょっと嫌そうに小指を立てた

指切りなんて子どもじみたことやりたくないよね

ごめん

いいやただ……

また無茶を言ったと反省しているんだ

撤回もできないがなお前しか頼れん

気にしないで。慣れっこだから

慣れてもらっては困る

君のせいだろ

く……

あはは

ほら、指切り

約束ね

……約束だ

くんっ

っ!?

誓いのキスもしておこうよ

そしたらなんだかロマンチックだろう？

……こら……

ちゅっ♡

……ま

まぁ

いいか

はっ
ん
ちゅ♡
んちゅ〜…♡
ふ
は
ん
プハ
たまには吸血しないでただキスもいいね
は〜♡
ずっとはできまい
すぐ吸いたくなる
そう？試してみようか
さす
……ふふ……
いいよ
やろうか
んっ
んちゅっ
ん
ん
ん
ふ
ん
ちゅ♡

ん
は
はむむ…
ちゅ
ちゅっ
ん…っ
ギュッ
ちゅ
んちゅ
……はあ
んちゅ
プッ
おかしいな
血なんて
吸ってないのに
……
したくなる
ものだね
ぺろり
長谷部くん？
フイ
どうして
こっちを
見ないの
どんどん
ねぇ
ズイ
……ッ！

燭台切……ッ
ギロ!
っち
近いんだよ
離れろ

は……

もういいだろ…

は……

はた

ぎゅうう

あはは

なんだ

堪え性がないのは君じゃないか

ゴソ

じろっ

ただ単に僕が欲しくなったんだろう

隠す必要ないのに

一応

できるだけ目立たないところを噛んで…

ガプ

そう……

あ……

ん
ごきゅ
ごきゅ
ふ
ごく
ぺろ
ぺろ
ぺちゅ
んちゅ…♡
っあはは
くすぐったいね
ぺとっ
おい
ん……
答えは聞かないの？
いいんだけど、さ
ず
しょう
聞かなくてもわかる
ごそ
お前も好きなのだろう
ジジ…
君のことが？

違う
色がだよ
はむ
ああ……、そうだね
ちゅうっ♡
ずちゅうう♡
ちゅっ
好きみたいだ
あ…
ズプププ♡
ん
ふ
んちゅ
ちゅうう
くぷっ
ぢゅーー…
ん
くぷっ
ーんッ
ぢゅっ
あ
うあ

——あぁっ だめだぁ
さっき 散々したのに
ちゅぷ
くぷ
くぷ
ビィンッ
はは
君の血の せいだね…
なんか 我慢できない …ッ
ガコッ
ガコッ
!?
ん
ん——っ!
っ!
でる…
あはは さすがに 薄まってきた みたいだ
トロン♡
びくん♡
燭台切
俺も

じゃあ…そう…そのまま腰を下ろして…

はーっ

息が

あたる……♥

ん…

ガプ

っ!?

——あ…ッ

ぶる…

ビカッ

吸血されながら触られるのいいんだ…♥

おまえこそこれ

んんっ♥

あ…っはぁ…♥

嫌だな声…出る…

あ

あん

しこしこ

んん…

っあ

ナカから僕の出てくる…

でもこれ美味しくないねぇ

っんふ

あ

もういい入れよう…ッ

あっ
すごっ
はぁ…
んんっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶる

ズル…
ドロ
んん…
ちゅ
ちゅ
ぴく
ぺろっ
あっ♡
うま
は
べろっ

は
困った
すり♡
離れられなくなりそうだ
は—♡
じゃあずっとこのままで良いんじゃない？
よしそうしようよ
いいのか
今日の食事当番は誰だったか忘れているようだが
おっとそうだった

やれることで少しでも役に立たないとね

この体じゃできないことも多くなる

じゃあ、またあとで

……あぁ あとでな……

ぱたん

しん…

「これで君も寂しくないだろう」？

カッコつけめ、わざと噛まれたとでも言いたいのか

下手な手を打った自分を正当化しているようにしか見えない

でも……もしかしたら本気かもしれない…？

どさっ

だとしたら白痴にもほどがある

しかし待ちきれん！

あとっていつだ？

さっさと夕飯など作ってしまえ

ッ！

いつもより喉が渇いている気がする

あいつの血で汚してしまったか

——だから血なんて飲みたくなかったんだ

ちゅ

レロ…

んんう…

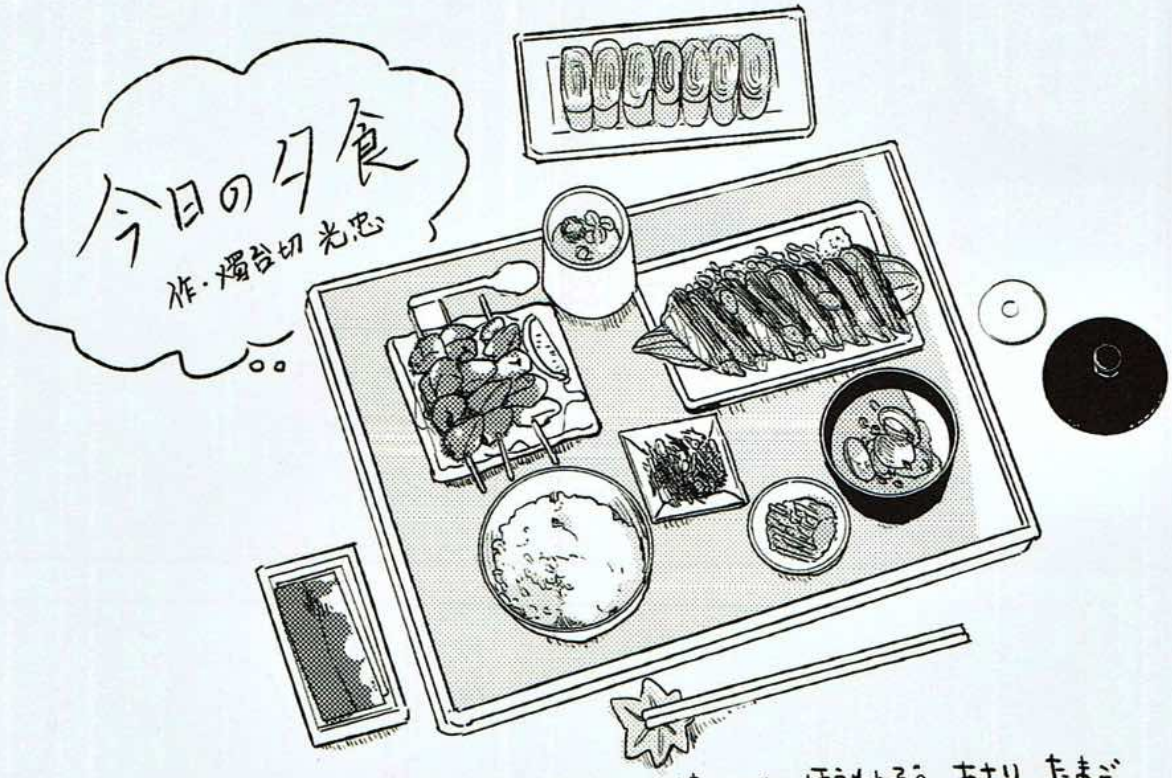
のみたいがやっぱり苦い……。

ごろん

でも甘い

ちゅっ

▸BLOOD NIGHT PARADE 下 おわり



メリバに挑戦だ！と息巻いていたのですが、プロット切ってててあかん二人が幸せじゃないの書くの辛い……となり結局予定より甘くなりました。

曰くひとりでは寂しいだろって理由で吸血鬼になった光忠ですがこれは相手が長谷部じゃなくてもそうした(言った)だろう……と(このお話の世界では)思います。でも本当にそう思ったかはわからないというか、カッコつけてそう言ったのか、ただ嘘ついたのか、それとも本心だったかどうかは自分の中でわざと明確に決めてなくて。そんな光忠の謎めきが好きです。

そうこうしているうちに長谷部くんの極がきましてこれは…まさかそうなるとは…。手紙では具合よさそうだったのに帰ってきたら闇が深くなってて驚きました。主への愛が深まって審神者的にはよかった、とも言えないのが彼らしくて刀らしくていいですね。この本では主と自分に一線を引いていますが極めた彼なら、近侍になるためにめちゃくちゃしそうでまあかわいいです。

上下巻に渡りお付き合い下さりありがとうございました！

♪CreepHyp：鬼

TokenranbuFanbook#19
燭台切光忠×へし切長谷部
BLOOD NIGHT PARADE 下
20171229/C93 Thanks/くりえい社

なりす/NARIS
pixiv3319066 twitter@roseetty_n
mail/roseetty.n@gmail.com

※ 無断転載、及びネットオークション・フリマアプリなどへの出品はお控えください。

NARIS
WORKS